

令和6年度「実施計画 兼 まちづくり達成状況報告書」(事務事業点検シート)

課等名: 健康保険課

シート No. : 16

作成日: 2025.5/7

① 総合計画上の位置付けと事務事業の背景・目的と目標

後期基本計画	施策の大綱	Ⅱ 保健・医療・福祉の充実	事務事業の背景・目的	事務事業の目標
	施策の目標	1 生涯にわたり市民の健康を守り、育む	法改正により県後期高齢者医療広域連合が行う高齢者保健事業は介護予防と一体的に行うことが示されたため、本市では令和5年度より、後期高齢者医療の保険者である茨城県後期高齢者医療広域連合から委託を受けて事業を開始しています。 実施にあたっては、保険者との調整を行う健康保険課と、事業内容を計画し実施する保健推進課、高齢福祉課が連携しています。市が抱える健康課題を、企画調整を行う医療専門職が分析し、既にリスクが高い状態にある方へ働きかけるハイリスクアプローチと、集団全体に働きかけて将来的な効果を期待するポピュレーションアプローチにおいて、それぞれ実施内容を選択し行うことで、健康寿命の延伸や重症化予防へ繋げ、増大する医療費の抑制を目的とします。	当市の医療費分析では、循環器疾患が占める割合が多くなっています。その中でも、外来医療費は循環器疾患のうち高血圧性疾患の割合が多いため、高血圧の重症化を予防する必要があります。このことから、ハイリスクアプローチでは、健診で血圧が受診勧奨判定値以上となった医療機関未受診者に対し保健指導を実施します。 また、介護が必要になった主な原因では、高熱による衰弱、転倒、骨折が上位となっています。そのため、ポピュレーションアプローチでは、介護予防教室を利用してフレイル状態の把握を行うほか、健康教育、健康相談を実施します。
	施策	1 保健		
	施策内容	高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施		
その他、根拠法令及び分野別計画等	高齢者の医療の確保に関する法律			
事務事業名	高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施			

② アクティビティ (活動・事業) とアウトプット (結果)

③ インプット (投入)

アクティビティ (活動・事業)		アウトプット (結果)			インプット (投入)	
活動名・事業名 (対象年)	R6 活動・事業内容	指標 (単位)	R6 目標値	R7 目標値	R6 予算額	R6 決算額
			R6 実績値	R8 目標値		
ハイリスクアプローチ (R6) 【保健推進課】	健診で血圧が受診勧奨判定値以上となった医療未受診者に対する保健指導	対象者数 (人)	11	-	7,612 千円	515 千円
			5	-		
ポピュレーションアプローチ (R6) 【高齢福祉課】	介護予防教室における健康教育、健康相談、フレイル状態の把握	参加者数 (人)	1,790	-	173 千円	37 千円
			1,373	-		
					千円	千円
					千円	千円
					千円	千円
					千円	千円
					千円	千円
					千円	千円
					千円	千円

④ アウトカム (成果)

指標名	目標値	R6 実績値
1人あたりの医療費	前年度より減少	前年度より減少

⑤ 点検・改善

業務の振り返り	改善の余地
ハイリスクアプローチでは、血圧や減塩に関する資料を用いて、訪問や電話による保健指導を行いました。また、病院とも連携し事業を実施しました。 ポピュレーションアプローチでは、フレイル状態の把握と健康教育、健康相談を行ったほか、フレイル予防の運動を周知、体験してもらうため、専門職 (理学療法士) へ講師を依頼しました。	<input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果 <input type="checkbox"/> その他
	今後の方向性 医療費増大の抑制や将来的な削減に繋げるには、継続して健康課題へ取り組んでいくことが重要です。さらなる活動を行うには、専門として行う医療専門職の確保など課題はありますが、今後も国や茨城県後期高齢者医療広域連合の方針を踏まえながら、引き続き健康課題を分析し、各課が連携して様々な事業を実施します。